

OTPF形：AC100V系各電圧  
OTPH形：AC200V系各電圧

OTPF/H形固定電圧電源装置は、商用電源をトランスで降圧し全波整流する、DC24V系のクラッチ/ブレーキ用電源です。AC100V系またはAC200V系の商用電源に接続するだけで、簡単に直流出力電圧DC24Vが得られます。

トランスで絶縁してありますので、堅牢で信頼性が高く、DC24V系クラッチ/ブレーキの一般的な用途には、この電源をご使用ください。

入力電圧はOTPF形がAC100V系の各電圧、OTPH形がAC200V系の各電圧に対応しますので、各種電圧で使うことができます。



### ① 仕様

#### 【OTPF形】

■入力電圧……………AC100/110/120V±10% 50/60Hz

■出力電圧……………DC24V±5%  
(AC100/110/120Vを入力し、最大の負荷電流を流したとき)

#### 【OTPH形】

■入力電圧……………AC200/220/240V±10% 50/60Hz

■出力電圧……………DC24V±5%  
(AC200/220/240Vを入力し、最大の負荷電流を流したとき)

#### 【共通】

■整流方式……………単相全波整流

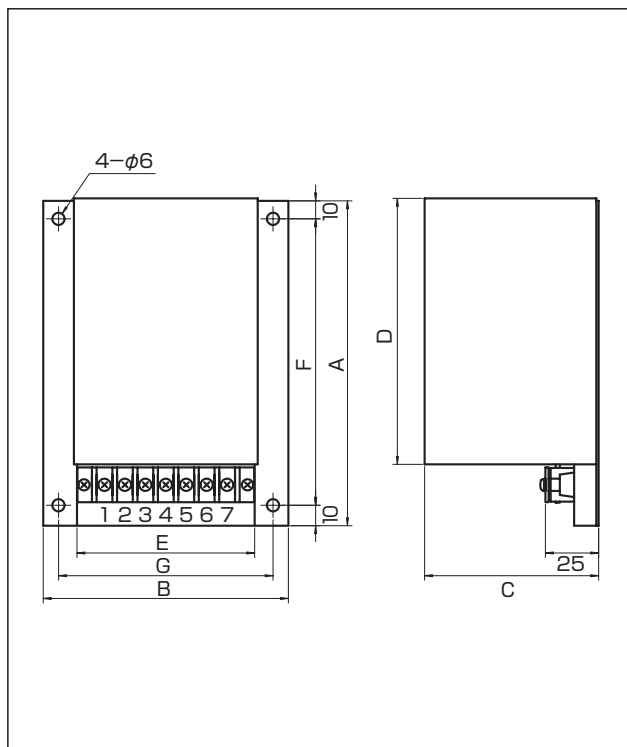
■使用周囲温湿度 ……0～40℃ 25～85% RH  
(結露なきこと)

■保存周囲温湿度 ……-10～70℃ 25～90% RH  
(結露なきこと)

■絶縁耐力……………AC1500V 50/60Hz 1分間  
入力一括と出力一括間  
入力一括と5番端子/ケース間  
AC1000V 50/60Hz 1分間  
出力一括と5番端子/ケース間

■絶縁抵抗……………DC500Vメガにて100MΩ以上  
入力一括と出力一括間  
入力一括と5番端子/ケース間  
出力一括と5番端子/ケース間

■表面処理……………焼付け塗装、マンセル2.5PB5/8



### ② 寸法

| 型番       | 入力電圧    | 出力電流   | ヒューズ | A   | B   | C   | D   | E   | F   | G   | 質量      |
|----------|---------|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|
| OTPF 25  | AC100V系 | 1A以下   | 2A   | 140 | 110 | 75  | 110 | 80  | 120 | 95  | 1.6kg以下 |
| OTPF 45  | AC100V系 | 1.8A以下 | 3A   | 160 | 120 | 85  | 130 | 90  | 140 | 105 | 2.3kg以下 |
| OTPF 70  | AC100V系 | 2.9A以下 | 5A   | 160 | 120 | 85  | 130 | 90  | 140 | 105 | 2.8kg以下 |
| OTPF 130 | AC100V系 | 5.4A以下 | 10A  | 190 | 140 | 105 | 160 | 110 | 170 | 125 | 4.8kg以下 |
| OTPF 240 | AC100V系 | 10A以下  | 15A  | 200 | 150 | 105 | 170 | 120 | 180 | 135 | 6.4kg以下 |
| OTPH 25  | AC200V系 | 1A以下   | 2A   | 140 | 110 | 75  | 110 | 80  | 120 | 95  | 1.6kg以下 |
| OTPH 45  | AC200V系 | 1.8A以下 | 3A   | 160 | 120 | 85  | 130 | 90  | 140 | 105 | 2.3kg以下 |
| OTPH 70  | AC200V系 | 2.9A以下 | 5A   | 160 | 120 | 85  | 130 | 90  | 140 | 105 | 2.8kg以下 |
| OTPH130  | AC200V系 | 5.4A以下 | 10A  | 190 | 140 | 105 | 160 | 110 | 170 | 125 | 4.8kg以下 |
| OTPH240  | AC200V系 | 10A以下  | 15A  | 200 | 150 | 105 | 170 | 120 | 180 | 135 | 6.4kg以下 |

### ③ 形番選定

#### (1) クラッチ/ブレーキを1台接続する場合

クラッチ/ブレーキの負荷電流の125%以上の電源を選定してください。

#### (2) クラッチ/ブレーキを2台以上接続し、同時に励磁する場合

同時に励磁するクラッチ/ブレーキの負荷電流の合計に対し、125%以上の電源を選定してください。

なお、1台の電源に2台以上のクラッチ/ブレーキを接続しても、常に1台しか励磁しない場合は、その中で最も大きい負荷電流の125%以上の電源を選定してください。

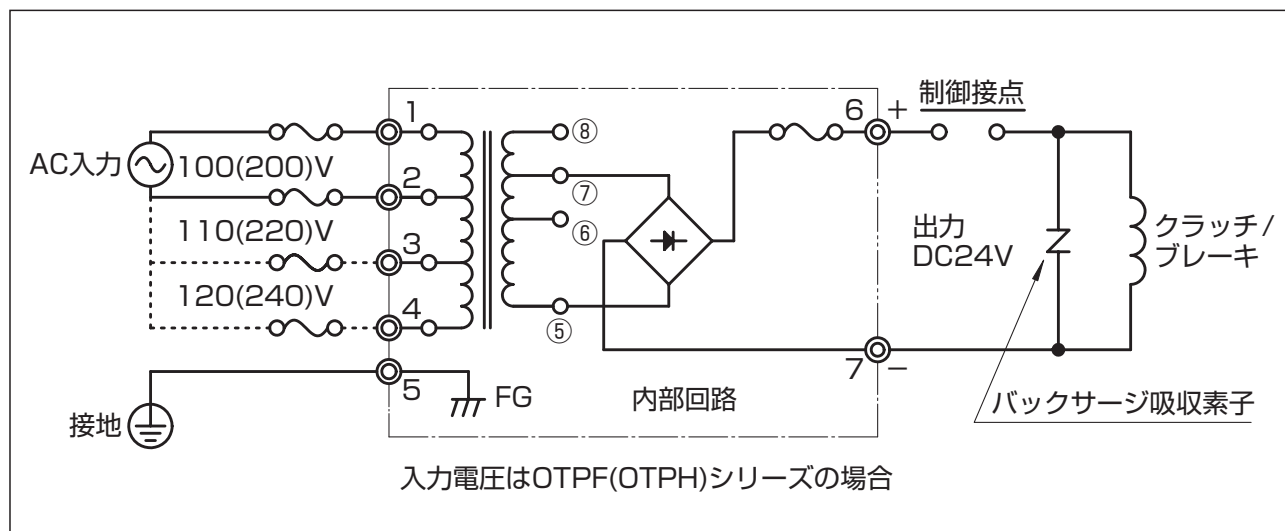
#### (3) 使用するクラッチ/ブレーキに対して出力電流の大きすぎる電源を選定すると、出力電圧が高すぎる場合があります。

### ④ 出力電圧の調整

電源装置の出力電圧は、入力電圧および負荷電流によって変化しますので、クラッチ/ブレーキを接続し、そのリード線部分で電圧がDC23～26Vにならない場合は、次の要領で調整を行ってください。出力電圧が高すぎる場合は、現在接続しているAC入力端子より高い電圧の端子を使用することで、出力電圧を下げるができます。

空き端子がない場合や低すぎる場合は、トランスの二次側には⑤⑥⑦⑧の4本のタップが出ています。出荷時は⑤と⑦を内部回路にハンダ付して、他の⑥⑧は遊んで絶縁してあります。電圧が低いときは⑦を外して⑧に、高すぎるときは⑥にハンダ付して、他の線は前と同様に絶縁してください。

もし⑥または⑧に接続して規定の電圧にならないときは、入力電圧の変動が大きすぎるか、電源装置の出力電流が不適と思われるので、調べてください。



### ⑤ 使用上の注意

(1) 安全のために、必ず5番端子を接地してください。

(2) AC入力側にヒューズ、サーキットプロテクタなどの保護装置を接続してください。

(3) この電源はインバータ出力電圧の入力はできません。入力すると電源が破損します。

(4) この電源はクラッチ/ブレーキ用のバックサージ吸収素子を内蔵していませんので、外部回路に適切なバックサージ吸収素子を使用してください。

(5) AC115V入力の場合はAC120V入力端子に接続してください。(OTPF形)

(6) AC230V入力の場合はAC240V入力端子に接続してください。(OTPH形)

(7) この電源に万が一異常や不具合が生じた場合でも、二次災害防止のために、完成品に適切なフェールセーフ機能を必ず付加してください。